

会 議 録

| | | | | | | |
|--------------------|-----|---|----|------|------|----|
| 会議名 (審議会等名) | | 第1回 相模原市地域交通活性化協議会 | | | | |
| 事務局 (担当課) | | まちづくり計画部 交通政策課 電話042-769-8249(直通) | | | | |
| 開催日時 | | 令和元年8月21日(水)15時35分~16時25分 | | | | |
| 開催場所 | | 相模原市立産業会館 4階 懇談室 | | | | |
| 出席者 | 委員 | 21名(別紙のとおり) | | | | |
| | 事務局 | 8名 | | | | |
| 公開の可否 | | 可 | 不可 | 一部不可 | 傍聴者数 | 1人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | | | | |
| 会議次第 | | 1 あいさつ 2 委員自己紹介 3 相模原市地域交通活性化協議会設置要綱(案)について 4 会長・副会長の選出について 5 議題 (1) 総合都市交通計画及び都市・地域総合交通戦略の策定について 6 その他 | | | | |

主な内容は次のとおり。

(は委員の発言、 は会長の発言、 は事務局の発言)

1 あいさつ

荻野まちづくり計画部長よりあいさつを行った。

2 委員自己紹介

自己紹介により、委員の紹介を行った。

3 相模原市地域交通活性化協議会設置要綱(案)について

原案のとおり承認。

4 会長・副会長の選出について

委員の互選により、会長に中村委員、副会長に落合委員が選任された。

5 議題

(1) 総合都市交通計画及び都市・地域総合交通戦略の策定について

事務局から概要について説明後、委員から意見等を伺った。

主な意見は次のとおり。

総合計画と都市計画マスタープランの策定年度は、これらの計画を上位計画として総合都市交通計画、都市・地域総合交通戦略を策定するのか。また、資料で「整合」と記載されている両方向矢印の趣旨を伺いたい。

総合計画及び都市計画マスタープランは令和元年度中の策定を想定している。「整合」の矢印は、新総合都市交通計画と立地適正化計画を指している。立地適正化計画については、令和元年度に先行して策定されるが、本計画の内容や社会経済情勢の変化等に応じて、柔軟に改定できるものにしたいと考えている。

本市では少子高齢化や過疎化が進行している地域もある一方、リニア中央新幹線の開通によって発展が見込まれる地域もあり、これらを含めて計画の検討をしていくものと思うが、今後の進め方について、協議会全体で検討をしていくのか、あるいは

は専門的な部会等を設置するのか、伺いたい。

今年度はこの協議会で現行計画の検証、次期計画の基本方針等の協議を進めるが、令和2年度以降においては、地域の公共交通や、鉄道路線を含めた広域的な交通、まちづくりとの連携等、検討内容は多岐にわたるため、部会を設けて個別に詳細な検討を行い、部会での検討結果を踏まえ、協議会の場で議論する方向で考えている。専門的、具体的な内容は随時、部会で検討していき、大筋の組み立てや現状認識の共有は全体でというイメージで理解した。また、資料では、基本方針は市民アンケートの結果に基づいて検討するように読み取れるが、アンケートだけでなく、現行計画の検証結果等も踏まえながら検討するという認識でよいか。

そのとおり。

この協議会の最終目的は、現行の総合都市交通計画及びバス交通基本計画を見直し、令和3年度末に、これらを合体した新総合都市交通計画を策定するということ
でよいか。

基本的にはそのとおりである。

以前、リニア中央新幹線新駅等にかかる検討委員会に参画したが、当時はまちづくりとリニアとの関係が主であった。次期計画では、新たな都市計画マスタープランに基づき、コミュニティバス等の交通網を整備するのが目的ということか。

まだ都市計画マスタープランがどのようなものになるのか示していない中での議論となるが、例えば中心市街地やその他の拠点の配置状況を都市計画マスタープランでは概ね示す予定であり、本協議会では、中心市街地と各拠点をどのように結ぶのかといったことを議論していただきたいと考えている。

全体でどのように考えるのか、また、個別ではどのように考えるのか、マクロ・ミクロの両方について議論はあり得る。新総合都市交通計画を策定していく中では、自動運転や MaaS 等、新しい技術、新しいサービスが出てきたときにどのように受け止めるのかについても合わせて検討する必要もある。また、これまでの交通計画はパーソントリップ調査を基に検討していたが、今は Suica 等の IC カードデータ

等、様々なデータがあるため、使用するデータによって、分析方法やものの見え方も変わってくる。これまでにない類のデータを使用して、人々の動きやニーズがどのようになっているのか等、分析していただきたい。

次期計画策定の視点には、安全や安心といった視点も盛り込んでほしい。

システムとして安全ということは第一であり、市民の方々が安心して使えるのも大事なことである。そのためにやらないといけないことは何なのかという議論は当然出てくるため、キーワードとして入れていただきたい。

資料に記載されている他の策定の視点についても、社会情勢の変化について、例えば人口減少、高齢化等、問題の背景にある現象と、渋滞緩和、環境負荷の軽減など、想定しうる問題に対してどのように対策を行っていくのかという言葉のレベル感が統一されていないため、整理が必要である。

また、国の交通の方針として、ウォークブルという、歩いて楽しいまちづくりが進められており、歩行者に重きが置かれている。計画の策定にあたっては、特定の地域やテーマに応じて、目標を達成するための手順や段取りを検討することも必要と考える。

承知した。

6 その他

次回協議会の日程について、今年11月から12月初旬頃の開催を予定している。

詳細については改めてお知らせする。今回は、現行計画の検証等を予定している。また、市民アンケートの内容については、事務局で素案を作り、各委員に送付させていただき、ご意見をいただきたい。

以上

第1回 相模原市地域交通活性化協議会 委員名簿

| | 所属・役職 | 氏名 | 出欠 |
|----|--|--------|------|
| 1 | 横浜国立大学 副学長 | 中村 文彦 | 出席 |
| 2 | 東洋大学 国際学部 国際地域学科 教授 | 岡村 敏之 | 欠席 |
| 3 | 一般社団法人 神奈川県バス協会 常務理事 | 小堤 健司 | 出席 |
| 4 | 一般社団法人 神奈川県タクシー協会 相模支部 常任理事 | 大畠 雄作 | 出席 |
| 5 | 東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社 総務部企画室 企画部長 | 東 耕太郎 | 欠席 |
| 6 | 東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 総務部企画室 企画部長 | 筑井 裕之 | 出席 |
| 7 | 小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部 交通企画部 課長 | 上田 敬生 | 代理出席 |
| 8 | 京王電鉄株式会社 取締役鉄道事業本部 副本部長計画管理部長 | 寺田 雄一郎 | 出席 |
| 9 | 神奈川中央交通株式会社 運輸計画部 計画課長 | 露木 輝久 | 代理出席 |
| 10 | 京王電鉄バス株式会社 取締役運輸営業部長 | 福島 八束 | 出席 |
| 11 | 富士急バス株式会社 業務部長 | 古谷 幸二 | 出席 |
| 12 | 国土交通省 関東地方整備局 建政部 都市整備課長 | 熊木 雄一 | 出席 |
| 13 | 国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所長 | 外川 和彦 | 出席 |
| 14 | 国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送担当） | 小泉 伸介 | 代理出席 |
| 15 | 神奈川県 警察本部 交通部交通規制課 都市交通対策室 副室長 | 平塚 友幸 | 代理出席 |
| 16 | 相模原市自治会連合会 監事 | 落合 勝司 | 出席 |

| | | | |
|----|-----------------------|--------|------|
| 17 | 相模原商工会議所 総務部長 | 下河原 英樹 | 代理出席 |
| 18 | 社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会 会長 | 戸塚 英明 | 欠席 |
| 19 | 一般社団法人 相模原市観光協会 専務理事 | 北村 美仁 | 出席 |
| 20 | 公募市民 | 石月 光子 | 出席 |
| 21 | 公募市民 | 櫻井 正友 | 出席 |
| 22 | 公募市民 | 高橋 達見 | 出席 |
| 23 | 相模原市 都市建設局 道路部長 | 田野倉 伸一 | 出席 |
| 24 | 相模原市 都市建設局 まちづくり計画部長 | 荻野 隆 | 出席 |